

事務事業名	みくに龍翔館管理運営事業			事業コード	10050805121
所管部署	みくに龍翔館	電話	82-5666	記入者名	角 明浩
事業対象	坂井市民、坂井市内外の利用者及び坂井市を訪れる観光客				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、博物館法施行令、文化振興基本法			
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、坂井市みくに龍翔館施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

【事業の概要】

文化財の保護・調査と施設の充実  
みくに龍翔館は開館後33年を経過しており、施設の老朽化に対応し、展示の充実化を図る。また、坂井市の博物館として資料収集・調査研究を実施し、市の文化遺産の散逸を防ぎ、地域文化遺産の保存活用を進める。

毎週水曜日と年末年始を除き、午前9時から午後5時まで開館。入館料大人300円、小人150円を徴収した。施設の管理とともに、合併により対象が広がった地域の資料の収集・保存・調査研究・公開を実施している。

◆施設管理  
修繕料1,185,680円、需用費（修繕料・紀要印刷費以外）6,842,051円、役務費596,237円、委託料（燻蒸以外）11,742,474円、使用料及び賃借料430,794円、備品購入費（空気清浄機付加湿機他）541,192円、その他負担金等21,200円

◆企画展  
・「新収蔵品展」（4/26～6/1）期間中入場者1,563人  
・「新道繁展」（7/26～9/15）期間中入場者3,070人

◆特別展  
・「十郷用水ものがたり」（11/1～12/7）期間中入館者1,846人  
特別展図録（フルカラー、A4版）500部発行  
報償費258,954円、旅費（調査・資料借用）38,410円、需用費（印刷製本費）730,080円、役務費（運搬料・保険料）615,210円、写真使用料4,328円

◆郷土史研究講座  
・「高見順の新しさについて」（7/19）  
※高見順文学振興会主催の“荒磯忌”の記念講演会をかねて開催  
講師 荒川 洋治氏 聴講者77人（定員70）  
・「江戸時代の用排水をめぐる様々な争論について～十郷用水を中心に～」（9/21）  
講師 藤野 立恵氏 聴講者50人（定員70）  
・「幕末の坂井-維新期前夜の諸相-」（3/21）  
講師 吉田 毅氏 聴講者71人（定員70）  
報償費30,000円 旅費2,460円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費							
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度				
			報酬	千円		千円		千円		千円			
			委託費	15,630	千円	7,820	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	8,891	千円	8,607	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	1,472	千円	2,477	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	2,222	千円	1,259	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	28,215	千円	20,163	千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	2.60	人	18,273	千円	2.60	人	18,483	千円	人	千円
			臨時職員	1.80	人	4,545	千円	1.80	人	3,694	千円	人	千円
			人件費合計	4.40	人	22,818	千円	4.40	人	22,177	千円	人	千円
	総事業費			51,033	千円	42,340	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	1,430	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	3,520	千円	3,709	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
その他			73	千円	74	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		46,010	千円	38,557	千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	51,033	千円	42,340	千円	千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	みくに龍翔館入館料	円	目標値 3805000	達成率 5385000	4176930	達成率 4176930	達成率
		実績値 3519540	92.5	3709350	68.88	3154410	75.52
成果	みくに龍翔館入館者数	人	目標値 13550	達成率 16150	達成率 18854	達成率 18854	達成率
		実績値 14810	109.3	13778	85.31	14530	77.07
活動	みくに龍翔館郷土史研究講座参加者数	人	目標値 189	達成率 70	達成率 40	達成率 40	達成率
		実績値 198	104.76	70	100	92	230
活動	みくに龍翔館所蔵資料の特別利用数	件	目標値 60	達成率 10	達成率 10	達成率 10	達成率
		実績値 116	193.33	28	280	26	260
活動	みくに龍翔館所蔵資料収集数（寄贈・寄託・購入・移管）	点	目標値 150	達成率 100	達成率 100	達成率 100	達成率
		実績値 1449	966	205	205	202	202
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

すぐにできる改善提案	坂井市の博物館として市全体の資料収集・調査・研究を実施してゆきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	平成26年度も坂井市市全体から資料が集まりつつあります。またそれぞれ数千点単位の資料群（内田家文書、岡部家文書）を寄託または購入により受け入れられましたので、今後、専門家の見地を仰ぎながら目録の作成、調査を行います。年に数度、企画展・特別展を開催し、未公開資料の公開したり、研究成果を市民に還元したりしました。専門の講師を招聘する講演事業「郷土史研究講座」でも、参加人数の急増により快適な聴講環境が保てないとの指摘を受けて、事前申込制に変更しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴う施設改修や常設展示替えを含めた改修計画作成に着手します。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	施設の老朽化にともない部分補修を行うなど、施設管理を行いました。また平成26年度中にみくに龍翔館本館の耐震診断調査を実施し、「耐震診断が適正に行われている」という判定を得ました。さらに今後、常設展示替えを見すえた資料の所在把握、収集につとめています。		

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の老朽化に対応しながら市全体の資料収集・調整・研究を実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市の博物館として老朽化に伴う施設修繕等を計画的に実施していきます。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市全体の資料の収集・調査・研究を進めるため、また、施設の改修を行うための展示内容の見直しを行うための学芸員の増員を検討します。			
すぐにできる改善提案	坂井市の博物館として市全体の資料収集・調査・研究を実施していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴う施設改修や常設展示替えを含めた改修計画に着手します。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

事務事業名	ONOメモリアル管理運営事業			事業コード	10050805126
所管部署	みくに龍翔館	電話	82-5666	記入者名	角 明浩
事業対象	坂井市民及び利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化振興基本法			
根拠例規	有	坂井市ONOメモリアル条例、坂井市ONOメモリアル条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			
【事業の概要】	故小野忠弘の住居兼アトリエの保存とその活用を図るとともに、市民の美術に関する知識の向上と美術文化の創造に寄与する。				
	冬期間の12月～翌年の2月を除き、毎週金・土・日と祝日の午前10時から午後4時まで開館。施設の管理とともに旧小野邸の公開を実施している。				
【事業の目的・事業の概要等】	坂井市内の子どもたちに坂井市の風景、生活を描いてもらう第8回「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」を、みくに龍翔館を会場として開催した。 ◆施設管理 需用費321,523円、役務費87,213円、委託料851,580円				
	◆企画展 ・「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」（9/27～10/19）期間中入場者数1,802人 審査謝礼・賞品代96,690円、需用費（賞状代）30,360円、賞状筆耕料24,462円				

すぐにできる改善提案	坂井市に縁の深い現代芸術家・小野忠弘とその業績を顕彰します。また高校生現代アートビエンナーレのような人材育成を目的とした事業の開催時に地域ボランティアを募集し、事業に参加してもらうことで将来企画運営に参加してもらえる人材を育成していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	みくに龍翔館の来館者にも、時に応じてONOメモリアルを案内・紹介し、施設のPRにつとめています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	小野忠弘を顕彰するとともに、現代美術愛好者の拡大を図り情報の発信拠点となる事業の開催を通して、地域ボランティアの育成に努め企画運営に参加してもらうなど、運営改善を検討していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	引き続き、より多くの地域ボランティア参加を呼びかけ、運営の主体となりうる組織の育成を今後とも続けてゆきます。		

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【事業の概要】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	876 千円	2,601 千円	千円	千円				
			需用費	352 千円	752 千円	千円	千円				
			役務費	87 千円	678 千円	千円	千円				
			その他	97 千円	1,294 千円	千円	千円				
		事業費合計	1,412 千円	5,325 千円	千円	千円					
		人件費	正職員	0.70 人	4,920 千円	0.60 人	4,265 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.20 人	505 千円	0.20 人	410 千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.90 人	5,425 千円	0.80 人	4,675 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,837 千円	10,000 千円	千円	千円						
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			200 千円	200 千円	千円	千円					
一般財源		6,637 千円	9,800 千円	千円	千円						
財源合計	6,837 千円	10,000 千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	小野忠弘氏の作品展示や氏に関連する美術展や現代美術の次世代を担う人材育成を促す事業を開催します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行予算を最大限に活用して美術文化の向上に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	みくに龍翔館への来館者や、市広報、ホームページ等を通じて「ONOメモリアル」を紹介し、小野忠弘氏の世界と現代美術の向上に努めます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	小野忠弘氏を顕彰するとともに現代美術の底辺拡大を図り、情報の発信拠点となる事業の開催を通して地域ボランティアの育成に努め、企画運営に参加してもらうなど、運営改善を検討していきます。			
目標年度 平成30 年度				

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	ONOメモリアル入館者数	人	目標値	1707	達成率	1707	達成率	
			実績値	323	18.92	789	46.22	1049
成果	ONOメモリアル入館料	円	目標値	0	達成率	0	達成率	
			実績値	0	---	0	---	94500
活動	ONOメモリアル有料入館者の割合	%	目標値	0	達成率	0	達成率	
			実績値	0	---	0	---	315
活動	企画展の回数（主催事業及び後援事業）	回	目標値	1	達成率	2	達成率	
			実績値	1	100	2	100	4
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					